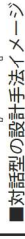


総合力を発揮するチーム

- まちのみなさとまにづくりあげるプロヤス

- ・まちのみなさまと、相互に理解を深めるプロセスとなる業務体制を構築します。



段階的な子エックと合音形成を重ね、

- 業務工程

- ・課題や与条件を整理した上で**主要マイルストーンを明確に設定**し、そこに向け業務を進めることができる業務工程を作成します。

- ・基本計画では3つ・基本設計では4つのフェーズを設定することにより、まちのみなさまと共有した工程で決めるべき項目を明確にした工程として手戻りのないように進めます。
- ・まちのみなさまとワークショップなどを行い、要望や意見を取り入れる機会を設けます。
- ・住民説明会や議会説明も考慮し、工程に組み入れます。

黑國山莊

- 10000000

4



の基本計画・基本設計を一元化することの業務メリット

- ・基本設計業務の契約行為に要していた期間が不要となるため、**検討や打ち合わせに活用できる時間を最大化でき、事業工程への影響を減らすことが可能。**
- ・**基本設計段階で検討すること**を基本計画の段階で行うことができるため、より精度の高い基本計画となり、スムーズに基本設計へ移行することが可能。
- ・早い段階から**コスト管理の精度を上げることができ、必要に応じて、設計内容を見直す時間ができる、工事予算との乖離による設計の手戻りを最小限とすることも可能。**

管理技術者
建築綜合主任技術者
建築構造主任技術者
電気設備主任技術者
機械設備主任技術者
基本計画主任技術者

調査技術者

○発注者及び児童生徒などからの意見・要望の収集・反映方法
まち全体を巻き込みつくりあげるみらいの学び場

- ・ワークジョブは、具体的な手法として次の段階で実施します。【1】目的と参加者の整理→②インプット共有→③現状把握・課題抽出→④アイデア発散→⑤案の整理・評価→⑥空間案の具体化→⑦振り返り・次のアクション確認】この段階を踏むことにより、みなさまとの合意形成や意見・要望の計画への反映が行いやすくなります。また、児童生徒もこの経験を通して自ら考える力や達成感を得ることができ、学校やまちへの愛着心の醸成へ繋げることができます。

- 社会教育施設複合化に関する運営管理者との協議・調整方法
まち全体を踏まえ、学校側と共に考える協議・調整

- ・**地域のあらゆる社会教育施設の運営管理者にもワークショップや協議に参加して頂き、現状の課題や新たな施設の運営管理手法などの意見・要望を収集した上で協議・調整を行います。**
- ・**最新の義務教育学校と町の公共施設が一体となった施設の事例をみなさんと一緒に視察を行い、運営管理について情報共有して協議・調整を行います。**
- ・**生涯学習施設の所要室は、学校の図書室や家庭科室などとの共用となることを想定され、また老朽化が目立つ武道センターやスポーツセンターは、学校の屋内運動場と複合化して共用することを想定しています。そのため、子どもを守るためのセキュリティ対策は、事例を参考に物理的な対策や技術的な対策を考慮し、管理手法を共に考えることとします。**



■ワークシヨップの実績例



■オーブンハウスの実績例

市場動向を把握し、費用対効果を踏まえたマネジメント

- ・過去の蓄積されたデータや刊行物を基に工事種別・主要資材別に各月で整理し、**昨今の資材高騰を予測し、最新の市場単価の変動を把握**します。

- ・各地の同種施設の工事費についても調査・把握を行い、市場の動向を見極めコストマネジメントを行います。
- ・様々な項目において、複数の案を比較検討することにより、費用対効果を見据えたコスト管理を行います。
- ・建設費で大きな割合となる躯体については、RC・S・W・複合など様々な比較を行って、コストを下げます。
- ・建設費を抑えるためにできるだけシンプルなランニングを心がけることを前提に、メリハリのある設計を行い、費用対効果も含めて検討します。
- ・ライフサイクルコストの最小化と建物の長寿命化を念頭に、インシヤルコストとランニングコストのバランスを取った設計を行います。
- ・改築、増築・改修については補助金との関係も踏まえた上で改めて確認し検討します。

[illegible]